



こうべ森の学校だより

No.71
2016年7・8月号

発行人：こうべ森の学校 編集委員会

発行所：神戸市北区山田町下谷上中一里山 4-1

神戸市森林整備事務所内

Tel: 078-371-5937 Fax: 078-371-1087

森の手入れの状況について

平成 26 年度から森の手入れの活動場所を各班ごとに固定して、手入れの進捗状況を実感してもらおうという試みを始めました。今年で 3 年目に突入しますが、ここで各班の現状と課題について中間報告をさせていただきます。紙面の都合で今回は 1 班と 2 班を掲載します。

1 班 (1 区)

齊藤 豪

1 班は再度公園の北の端、洞川湖畔の森の手入れを実施しております。現状はヒサカキ、ソヨゴ、リョウブ、ネズミサシに交じって春にはミツバツツジが咲き、楽しませてくれます。現在、常緑樹の除伐を進めており、コナラなど落葉樹を中心とした森を目指しております。

2 年間の活動の成果で林道から湖が見えるほど明るくなってきました。

活動範囲が広いので、常に会員さんの近くにスタッフを配置して、事故やケガが無いように配慮しています。



H26.6.15 撮影

H27.6.21 撮影

2 班 (2.3 区)

西村 武史

① 3 区梅林から向かって右側 (林道から)

当初は枯れ松の伐採後の枝が、積み上げられていましたが、林内の適所に積み替えました。

② 3 区右側 (林内)

ヒサカキを中心に除伐した林内は、やや明るくなりました。今後は繁り具合を見ながら、ソヨゴを伐採したいと思います。

③ 3 区中央付近 (林道から)

日当たりの良いところは、根笹が繁っています。林道を挟んで左が 2 区、右が 3 区 3 区は中央より右側になります。ヒサカキの除伐を進めました。こちらも日当たりを見ながら、ソヨゴを伐採する予定です。

④ 2 区は全く手が入っていません。

2 区 (林道から) よく繁っていて、林道からは林内の様子が分かりません。倒木も見えます。まずは道沿いの整理を進めます。

⑤ 3 区について

今後は可能な限りソヨゴの伐採により林内を更に明るくしたいと思います。

⑥ 2 区について

2 班の活動の中心を 2 区に移して、今後は倒木の整理とヒサカキなどの除伐を進めたいと思います。



平成 28 年 7 月 9 日例会の集合写真

神戸の森から北海道の森へ

藤原 恒夫



海に浮かぶ利尻島

私、かかしの会なんて知りまへんがな???あの人もチョットボケが入って来たかな?それとも只のオッチョコチョイ?まあ7月始めに、北海道へは行きましたし、その人にも会いました。

北海道には梅雨がないということなので、この時期を選んで旅仲間がこの企画を作ってくれました。旭川経由で富良野、稚内、礼文島、利尻島へ。旭川には、ここ数年で人気急上昇の旭山動物園があります。園長さんはボルネオ島マレーシアでオランウータンやボルネオ象など希少野生動物保護の活動をされています。私もボルネオ島インドネシアで同じようなことしています。先ずは園長さんに挨拶と思いましたが、あまり私のことをご存じないかもしれないので、取り敢えずオランウータンに挨拶を。ホエザルの横でお会いできました。

噂に違わず園内には多くのお客さんが入っています。ここは小山の斜面を利用して作られた小さな動物園です。しかし、動物の習性を利用したエサやりや展示の仕方が非常にうまいです。さすが、遠くからでも来る価値があると思います。楽しくて時間の過ぎるのを忘れてしまいますよ。私はオランウータンの檻の前で一時間居りました。ペンギン、アザラシ、熊、ライオン等々、時間がいくらあっても足りません。帰りの集合時間も忘れていました。



旭山動物園のオランウータン

この動物園、かつては存亡の危機に立たされていたのです。小さいし、坂が多いし、冬はメッチャ寒いし。そこで考え出されたのが集客旭山方式です。今では、全国の動物園、水族館がここを参考にしているようですね。しかし、ここの園長は只々動物を世界から連れてきて見せるだけでいいのか?その動物の生息地のことも伝える使命もあるのではないかと考え。そこから、今のボルネオ島で『緑の回廊』という保護活動をするようになったようです。

さて、表題に上げました「北海道の森」がなかなか出て来ませんので、ここから無理矢理、礼文、利尻へ。

先日、こんなお便りが届きました。かかしの会 IN 北海道では大変お世話になりました。云々????

礼文島はこの時期、花の浮島と言われるように固有の高山植物が咲き乱れています。海に浮かぶ利尻岳はとても美しい。この礼文島に、かつてわれらが『こうべ森の学校』のスタッフで活動されていた村上正彦さんが居られます。村上さんは昨年、福島の浪江町、富岡町で放射能の除染作業をされていました。そして今、この礼文島でGSS(グリーン・サポート・スタッフ)として活動されています。北海道森林局の管轄だそうで、森林の管理、保護、山道の修復等をやっているようです。そこで、旅仲間と別れて、村上さんの作業現場をのぞきに行きました。



礼文での村上さん

しかし、残念なことに前日からの風雨で、山支度の無い私は同行出来ません。ホテルのカフェで、島の説明、見どころ、美味しい店等を教えてもらい。



作業現場での村上さん



トドマツの倒木

天気が良ければ、ああで、こうで・・・?残念ながら、またね。その後旅仲間と合流し村上レクチャーを教示する。もう、きれいな景色はあきらめて、教えてもらった食堂で、うまいウニ丼を食べよう! 利尻昆布を食べて育ったバフンウニは殊更美味いそう。チョット高いけど。

張り紙「ここ荒天のためウニ漁不可、入荷なし」(泣)

利尻の海岸の風物詩、「昆布干し」も見れず。樺太も見えず。ただただ、フェリーは荒波の海を利尻島へ。目の前の利尻富士も見えず。翌日も雨。



カフェでレクチャーを受ける

北海道 梅雨はないけど 雨はふる本島に戻り、少し晴れて来ました。レンタカーで、真っすぐな、真っ直ぐな、真っすぐな道。

皆さん気を取り戻して、やっと、北海道らしくなって来たね!と。

だが、問屋はそうは卸さなかった。とある町に入ったところで、北海道警がネズミ取り。

ハイ、こちらへ、いらっしゃーい(泣) 同乗者へ罰金の



トドマツの倒木がある歩道

お裾分け。
これも北海道らしいといえば、北海道らしい(笑)
じゃんじゃんでオシマイ!

これでは北海道

の森の扱いが少ない?

これが、最後の切り札。札幌でエエのがあったんですわ。また、オランウータンを見に円山動物園へ行きました。また、檻の前で一時間居りました。

帰り、その周りの森を歩いていると、何と原始林。

明治初期の開拓使が残した原生林が天然記念物の指定を受け保護されていました。森には、下地を守るために木道が設置されています。静かな森の百五十年物の杉の大木。えぞリスも見受けられました。結構長い時間観察出来ましたが、デジカメのバッテリーが切れて写せませんでした。可愛かったデス。北海道神宮の森も良かった。



北海道神宮

何とか、森につながった。

森の音楽会 開催



リハーサル

催していましたが、この時期に加えて初めてアコースティックデュオ(2人で歌とギター演奏)の出演で、オリジナル曲を中心に、「上を向いて歩こう」や「見上げ

6月12日(日) 風楽山荘に於いて、『第13回 森の音楽会』を開催しました。

従来、秋季に開

てごらん夜の星を」等も交え、14曲を披露していただきました。

雨天にも関わらず39名のお客様が来場され、今までとは異なった趣のある音色がログハウス内に響き、楽しい一時を過ごされたことでしょう。



音楽会本番

シリーズ 私のヒヤリハット⑧

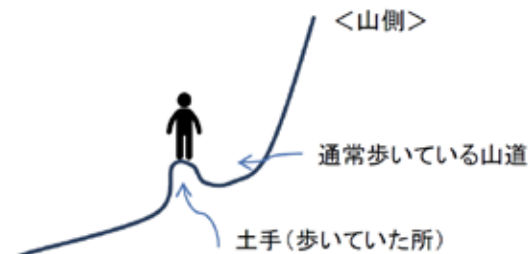
日時 2016年3月12日 11時50分頃

場所 月例会4区作業場所から帰る途中

天候 晴れ

状況 午前の作業を終え、ログハウスへ帰る途中、狭い山道の為に前方から来たハイカーの邪魔にならない様にと、谷側の少し高くなった所を歩いていた。

【断面図】



< 谷側 >

ヒヤットハットした事 歩いていた少し高い所から通常の山道に戻ろうとした時、足をすべらせて谷側の草や落葉のある斜面を滑り落ちた(滑り台のように)

※ 擦り傷や打撲なし

どうしたらよいか(安全マニュアル等参照)

① 他のハイカーとすれ違う場合は、その場で立ち止まり、行き過ぎるのを待つ

② 狭くても道がある場合は、道を歩く
備考 『上にある「もの」いつかは落ちる』の教訓を忘れていました。

今回の事例は、作業地への途中で、ハイカーとすれ違う際の譲り方が確立できていなかったことが一因と思われます。今後すれ違う際は、スタッフの合図で山側に避けて、ハイカーが通り過ぎるまで止まって待つようにします。

また、本人は道具を持っていたため、接触しないよう一段小高になっている路肩を歩き、山道に戻る際に自身の足元を確認が不十分ではなかったのか、作業地及びその途中においては手元・足元には充分注意をしたいものです。

お知らせ

「六甲の野鳥撮影の記録」はお休みさせていただきます。次回作にご期待ください。



狭い道を歩くときは 端に寄りすぎないように

■前々回・前回の報告

日付	参加者	司会	午後・森の手入れ	木工工作	自然観察	苗づくり
6月19日(日)	29名	中里さん	雨天のため中止	14名	12名	—
7月9日(土)	20名	西村さん	雨天のため中止	3名	11名	4名

■東お多福山草原再生プロジェクト



橋本先生のレクチャー

かったですが、時折吹く風は下界より涼しくさわやかでした。今回は刈払機を使わず、刈り込み鋏や鎌を使っての作業を行いました。

平成28年度第3回目の活動は7月20日(水)に実施しました。こうべ森の学校から8名参加しました。日差しはきつ

ネザサの成長も抑えられ、ススキが順調に成長しているのが確認できました。次回は10月5日(水)【予備日



根気のいる作業です

6日】にコロラードの調査及び外構部の刈り取りを行います。参加を希望される方は横田さんまたは小野さんにお申込みください。

お知らせ・掲示板

◆図書のお返却のお願い

図書の整理をしています。いま 森学の図書を借りておられる方、お忘れのままの方 9月の例会までに必ず返却して下さい。返却の際貸出ノートに必要事項をご記入ください。



高橋敬三文庫

◆バスの運行

こうべ森の学校月例会には神戸市バス25系統(三宮～森林植物園)をご利用ください。三宮の乗り場はミント神戸1階三宮バスターミナルM4停留所、9時20分発のバスに乗れば、例会に間に合います。

運行日は4月～11月の土日祝日のみで、平日の運行はありませんので、ご注意ください。

また阪急バス61系統(神戸駅南口～鈴蘭台)は通年運行しております。神戸駅南口バス停9時発のバスに乗り、水源池バス停で下車して徒歩25分で、こうべ森の学校「風楽山荘」に到着します。

平成26年度から再度公園駐車場が無料開放されています。こちらもご利用ください。

◆こうべ森の小学校 & 森のようちえん

次回の開催予定日は9月22日(木・祝)

(問い合わせは、神戸市森林整備事務所に)

◆摩耶の森クラブ

次回の開催予定日は9月22日(木・祝)

(問い合わせは、神戸市森林整備事務所に)

◆ボランティア保険に加入していますか

森の手入れの作業中の事故に備えて「兵庫県ボランティア・市民活動災害共済保険」への加入手続きをされていますか。掛け金は500円の負担で補償期間は4月1日から翌年3月31日までです。受付窓口はお住まいの市区町社会福祉協議会です。

会員活動の開催予定日

・月例会 9月10日(土)・10月16日(日)

午前中は全員で森の手入れを行います。午後は自然観察・木工・苗作り・森の手入れから選択していただきます。

・上記以外の火・木・土曜日にも活動しています。

「こうべ森の学校」は、発足当初から物心両面にわたり伊藤ハム株式会社の社会貢献活動の支援を受けて運営されています。

編集後記 私事ですが、7月後半に右腕のひじ関節にできたガングリオンという脂肪の塊を摘出するために入院しました。緊急だったので仕事やボランティア活動をすべてキャンセルして手術に挑みました。六甲アイランドの病院に入院中、窓から見えた摩耶山に心が癒されました。退院後も3週間以上ギプスをつけたままの不自由な生活を強いられましたが先日やっと外すことができました。

た。しばらくリハビリを続けて1日も早く森での作業ができるよう頑張ります。森学復帰の初仕事は「森学だより」の編集作業となりました。みなさんから寄せられた貴重な原稿やご意見が生命線でございます。今後もよろしくお願ひ申し上げます。(斉藤)



病室から見た摩耶山